

成果をとりまとめたものとして当研究所が最も重視している定期的刊行物であり、前身の港湾技術研究所時代の論文を含め、直近に印刷されたものまですべての論文がホームページに掲載され、外部の方も容易に論文のpdfファイルをダウンロードできまるようになっていきます。

具体的にはホームページのトップページにある「研究成果」のタグを開くと「研究論文検索」の項目がありますので、年代ごとに、あるいはキーワード検索ができるようになっていきます。例えば、「干潟」で検索しますと、1979年の論文をはじめとして27件の論文がヒットしますので、各年代の代表的な干潟研究の成果が閲覧できるようになっています。

研究所が行っているすべての研究は、最小の単位として研究実施項目に区分され、それぞれの項目の研究活動の経過が毎年報告・公表され、さらに3年間の継続期間を標準として、その成果は原則として港湾空港技術研究所報告あるいは同資料にとりまとめることになっています。論文としてそれぞれの専門分野での新規性があり、学術レベルが高い内容のものについては港湾空港技術研究所報告としてとりまとめることが求められており、また、データ集としてとりまとめることに価値があるものなど速報性が求められるもの、プロジェクトの報告や博士論文など総合的な視点で成果をとりまとめたものなどは、同資料としてとりまとめることが推奨されています。2011年4月には、3月11日に発生した東日本大震災による地震・津波被害に関する調査速報を、理事長以下34名の研究者の連名で、資料としていち早くとりまとめました。また、2011年度中に3編の博士論文が資料として出版されました。

それらの刊行物は、いわば研究所の顔として、最も重要な成果物として位置づけられており、そのために一般の学術論文とは異なりページ数の制限を設けず、研究結果のみならず手法や方法論についても丁寧な記述を推奨しています。また、専門性・学術性を重視した部内での討議を主体とした審査と、主として外部への公表の適切性の観点から幹部クラスで構成される公表審査会での審査という、独自の2段階の審査を経て公表されるシステムを有しています。特に内容の高い報告・資料については、毎年3編程度を目安に、理事長表彰の対象としています。

これらの特徴を有する港湾空港技術研究所報告・資料は、土木工学の研究者や港湾界の実務者の方々などに幅広く支持・活用され、成果が評価されてきたと自負していますが、今後も、港湾空港分野での実務への波及・支援を使命とした研究成果物として、また伝統ある独自文化として、一層質の高い研究成果を公表し続けていくつもりです。

◇PARI◇=====

2. 港湾空港技術研究所報告・資料の発行

=====◇PARI◇

港湾空港技術研究所の研究成果として、「港湾空港技術研究所報告」、
「港湾空港技術研究所資料」を公表しています。今回は本年6月発行分を
紹介します。

○港湾空港技術研究所報告・資料の検索ページ

<http://www.pari.go.jp/cgi-bin/search-ja/index.cgi>

○報告：造波境界上の水深と方向スペクトルの空間変化を考慮した多方向不規則波の造波とその特性

<http://www.pari.go.jp/cgi-bin/search-ja/detail.cgi?id=20120615145637>

○報告：強震動を対象とした2011年東北地方太平洋沖地震の震源モデル

<http://www.pari.go.jp/cgi-bin/search-ja/detail.cgi?id=20120615145952>

○報告：係留施設の機能低下評価手法に関する研究

<http://www.pari.go.jp/cgi-bin/search-ja/detail.cgi?id=20120615150144>

○資料：管理型海面廃棄物処分場に打設する基礎杭が底面遮水基盤に与える影響

<http://www.pari.go.jp/cgi-bin/search-ja/detail.cgi?id=20120615150407>

○資料：もたれ式護岸の打継ぎ部における衝撃碎波圧による破壊・変形に関する大規模実験

<http://www.pari.go.jp/cgi-bin/search-ja/detail.cgi?id=20120615150621>

◆PARI◆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

<今年も開催します>

3. 研究所「夏の一般公開」を7月28日（土）に開催

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆◆PARI◆

平成24年度研究所「夏の一般公開」（以下「夏の一般公開」）が、以下の要領で開催されます。（申し込み不要）

・日時：平成24年7月28日（土）10:00～16:00（15:00受付終了）

・場所：港湾空港技術研究所（最寄り駅：京急久里浜駅）

「夏の一般公開」では、例年、津波を人工的に起こすことができる「大規模波動地盤総合水路」をはじめとする研究施設の公開、研究者による研究の紹介、体験型の実験など、子供から大人まで幅広く楽しむことができる催しを実施しています。

このような体験型の一般公開は年に一度の開催で、港湾や空港の最先端の研究を間近で体験できる貴重な機会です。皆様の多数の参加をお待ちしております。

詳細な情報については、下記のURLをご覧ください。

<http://www.pari.go.jp/event/open/2012/2012natupr.html>

◇PARI◇=====

4. 報告：国際会議・国際出張

=====◇PARI◇

1) ベトナムの大学において、地盤調査の講義を行いました。

<http://www.pari.go.jp/files/4427/1208769356.pdf>

2) チリ共和国との共同研究について、航空レーザー測量に関する業務打ち合わせを行いました。

<http://www.pari.go.jp/files/4424/403850461.pdf>

3) 「第13回北東アジア港湾局長会議課長級会合」に出席しました。

<http://www.pari.go.jp/files/4381/1204351385.pdf>

4) フィリピンにて、海岸浸食の実態調査と意見交換などを行いました。

<http://www.pari.go.jp/files/4416/382581149.pdf>

5) 韓国海洋研究所（KORDI）において、講演や意見交換、技術指導を行いました。

<http://www.pari.go.jp/files/4382/1503684348.pdf>

6) 「第14回アルカリ骨材反応に関する国際会議」にて、論文発表を行いました。

<http://www.pari.go.jp/files/4430/1951766744.pdf>

7) 「第二回地盤耐震性能設計に関する国際会議」にて、研究発表を行いました。

<http://www.pari.go.jp/files/4425/1333445077.pdf>

8) 「河口・海岸域の科学に関する国際会議」にて、研究発表を行いました。

<http://www.pari.go.jp/files/4431/632256402.pdf>

◇PARI◇=====

5. 港湾空港技術研究所ホームページ 掲載情報

=====◇PARI◇

1) 桑江朝比呂チームリーダーらがキヤノン財団の研究助成金を取得しました。

<http://www.pari.go.jp/research/competition/>

2) ノルウェー地盤工学研究所と港湾空港技術研究所の研究協力覚書の署名式を開催しました。

<http://www.pari.go.jp/research/cooperation/international/2012/20120510.html>

3) 第10回堀田記念奨励賞を計測・システム研究チーム田中敏成研究官が受賞しました。

<http://www.pari.go.jp/research/awards/2012/20120525.html>

4) 土木学会より論文賞、吉田賞（論文部門）、吉田研究奨励賞の3賞を受賞しました。

<http://www.pari.go.jp/research/awards/2012/>

◇PARI◇=====

6. 事務局からのお知らせ

=====◇PARI◇

◆本メールは、今まで港空研が主催した講演会や一般公開に参加し、メールアドレスを登録された方にお送りしております。

◆メールマガジン「PARI Club 通信」の配信登録、配信停止、および

メールマガジンに関するご意見、ご要望は、本メールに返信するか、以下のアドレスに送付ください。

「pariclub@ipc.pari.go.jp」

- ◆配信停止の場合は、お手数ですが、件名を「メール停止希望」として送付願います。